



情報漏洩対策シリーズ

InterSafe ミドルウェア更新手順

アリスシステムインテグレーション株式会社



目次

1. InterSafe ILP における Tomcat プログラム更新	3
1-1. プログラムの準備	4
新しい Apache Tomcat プログラムの準備	4
インストールスクリプトの準備 (InterSafe v5.00.00 – v5.00.05 の場合)	4
1-2. サービスの停止	5
Apache/Tomcat サービスの停止	5
1-3. プログラムの更新	6
Java パラメータの設定を控える。	6
Apache Tomcat のアンインストール	7
Tomcat の再インストール	8
Java パラメータを設定する。	10
1-4. サービスの開始	11
Tomcat/apache サービスの開始	11
2. SD Professional における Tomcat プログラム更新	12
2-1. プログラムの準備	13
新しい Apache Tomcat プログラムの準備	13
2-2. プログラムの更新	14
Apache Tomcat サービスの停止	14
Apache Tomcat のアンインストール	14
Tomcat の再インストール	15

1

1. InterSafe ILP における Tomcat プログラム更新

本章は、InterSafe ILP シリーズにおける ApacheTomcat プログラムを更新する手順について記載しています。

(お願い)

- ApacheTomcat などミドルウェアを入れ替える際は、予め製品の Ver を確認し、必ず同じ Ver のインストールプログラムを利用してください。現在利用中の Ver 確認は InterSafeManager(管理画面)へログインした後、[環境設定]タブの[システム設定]よりご確認いただけます。



- 文中のバージョン情報はご利用中の製品により異なります。適宜読み替えてご利用ください

1-1. プログラムの準備

新しい Apache Tomcat プログラムの準備

- 1) ダウンロードサイトより、最新のプログラムを入手します。
 - ・ご利用の Ver が InterSafe v4.30 以前の場合
<http://dl.alsi-iss.jp/productdata/ilp/download/apache-tomcat-7.0.78.exe>
 - ・ご利用の Ver が InterSafe v4.40 以降の場合
<http://dl.alsi-iss.jp/productdata/ilp/download/apache-tomcat-8.0.44.exe>
- 2) インストールメディアから¥Autorun フォルダと¥Setup フォルダを任意ローカルディスク上へコピーし、前項でダウンロードした apache-tomcat-x.x.xx.exe を¥Setup¥tomcat¥へコピーします。
- 3) 前項でコピーした¥Setup¥tomcat¥tomcat.vbs 中にある apache-tomcat-x.x.xx.exe の記載をダウンロードしたファイル名に合わせ編集後、保存します。
 - ・ご利用の Ver が InterSafe v4.30 以前の場合

```
If arch = 32 Then
    inst = "apache-tomcat-7.0.78.exe"
Else
    inst = "apache-tomcat-7.0.78.exe"
End If
```

- ・ご利用の Ver が InterSafe v4.40 以降の場合

```
Dim objExec
Set objExec = objWsh.Exec("apache-tomcat-8.0.44.exe")
```

インストールスクリプトの準備 (InterSafe v5.00.00 - v5.00.05 の場合)

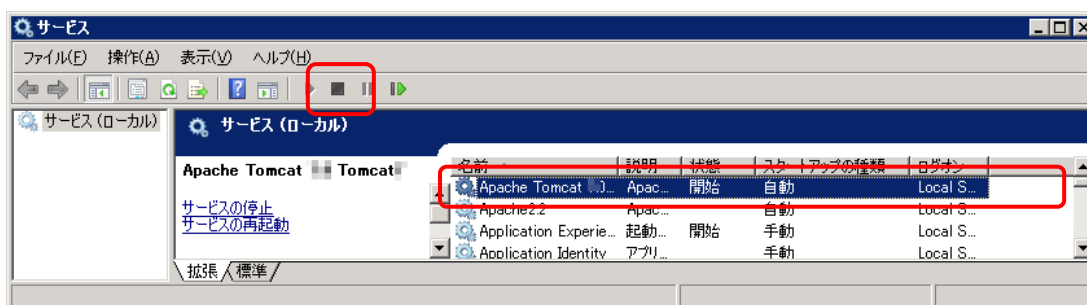
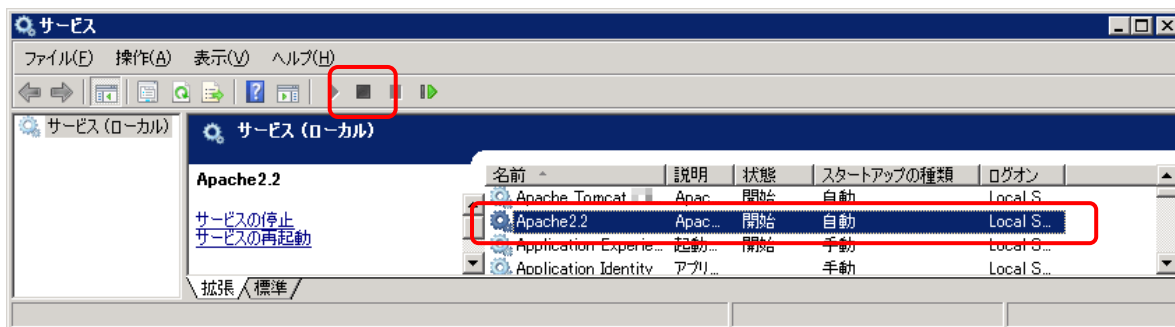
ご利用の Ver が InterSafe v5.00.00 - v5.00.05 の場合は以下手順に沿って、ファイルを置き換えてください。その他の Ver では必要ありません。

- 1) ダウンロードサイトより、以下 zip ファイルを入手し、解凍後 ilp_install.vbs を入手します。
http://dl.alsi-iss.jp/productdata/ilp/download/ilp_install.zip
- 2) 前述で任意ローカルディスク上へコピーしたフォルダ内にある同名ファイルと置換えます。
(任意ローカルフォルダ)¥Setup¥ilp¥ilp_install.vbs

1-2. サービスの停止

Apache/Tomcat サービスの停止

[スタート]–[コントロールパネル]–[管理ツール]–[サービス]を選択し、「ApacheX.X」、「Apache TomcatX」の順でサービスを停止させます。



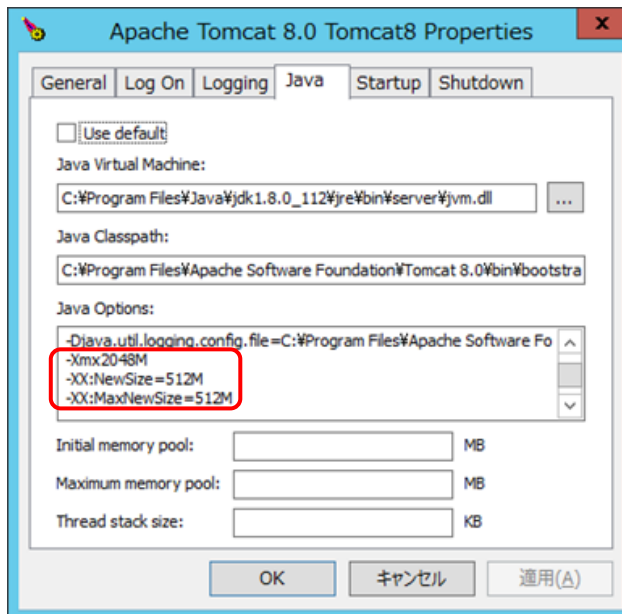
1-3. プログラムの更新

Apache Tomcat をアンインストールし、新規プログラムをインストールします。

Java パラメータの設定を控える。

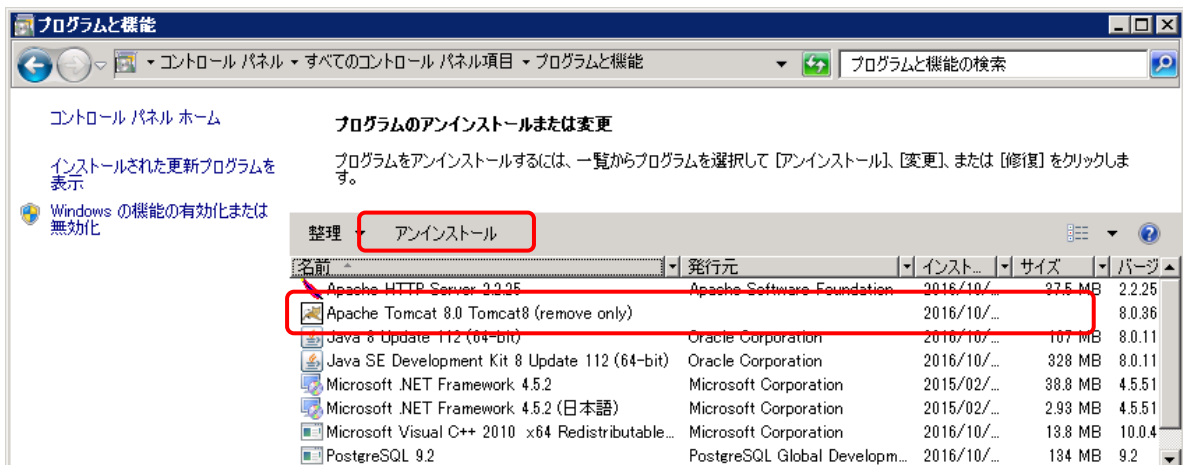
[スタート]-[Apache Tomcat X.X TomcatX]-[Configure Tomcat]の[Java]タブの[Java Options]の以下記載内容をメモ帳などに控えます。

※この他にもインストール時のデフォルト値から変更しているものがあれば、後で同じ設定をするために控えておいて下さい。(対象箇所は以下3か所です)

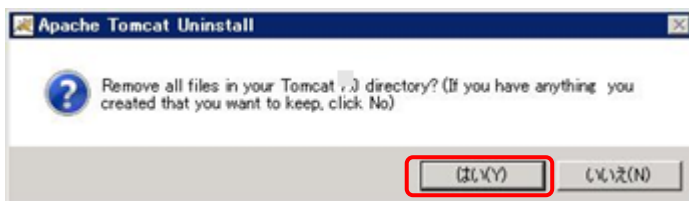


Apache Tomcat のアンインストール

- 1) [スタート]—[コントロールパネル]—[プログラムと機能]をクリックします。
- 2) [Apache Tomcat X.X (Remove only)]を選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。



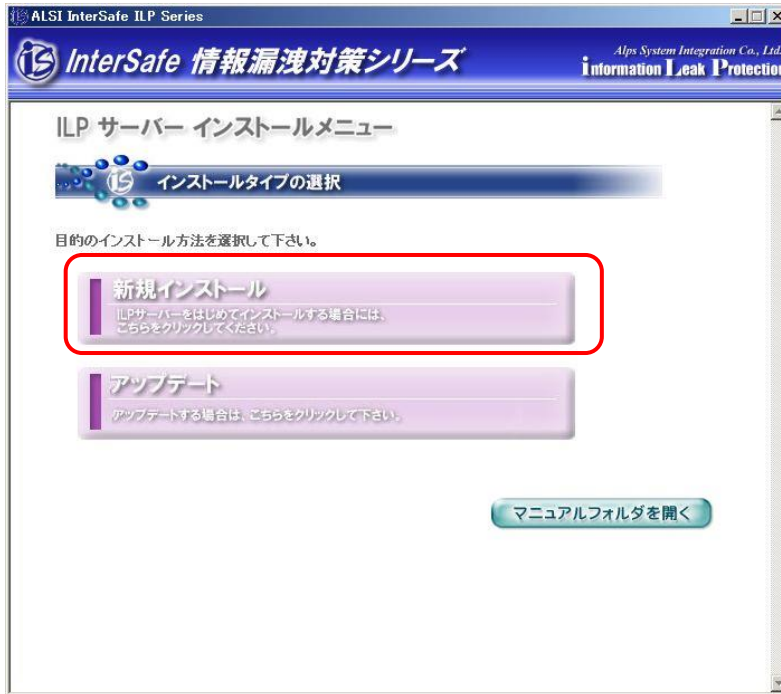
- 3) 確認ダイアログが表示されたら、[Uninstall]をクリックします。
- 4) 確認ダイアログが表示されます。設定ファイル等も削除しますので [はい]をクリックします。



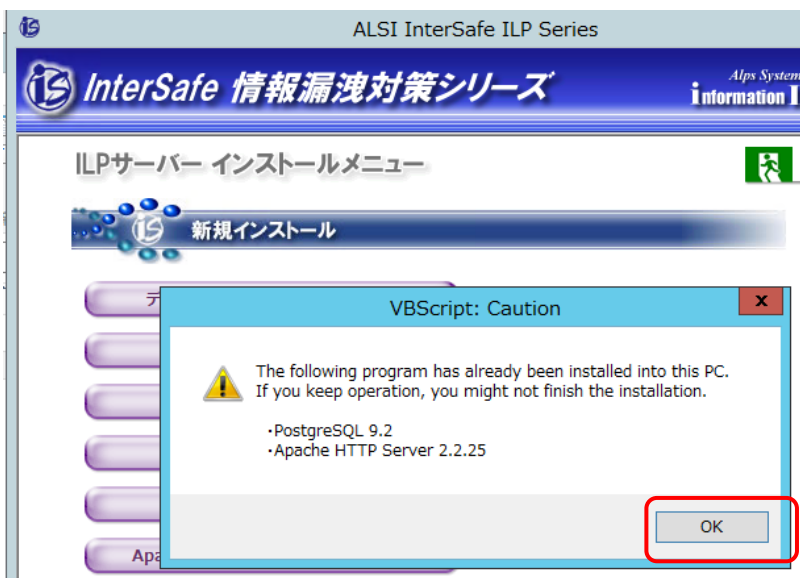
- 5) Tomcat のインストール先 (デフォルト: C:\Program Files\Apache Software Foundation) にある「TomcatX.X」フォルダーを削除して下さい。

Tomcat の再インストール

- 1) 1-1 項で準備した「Autorun」フォルダー内の「Autorun.exe」を実行、「新規インストール」を選択します。



※既にインストール済みのプログラムが存在するために警告が表示されますが、OK ボタンで閉じます。

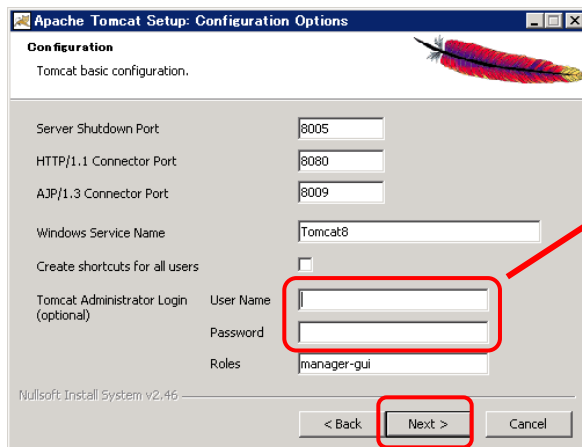


2) 「Tomcat のインストール」を実行します。



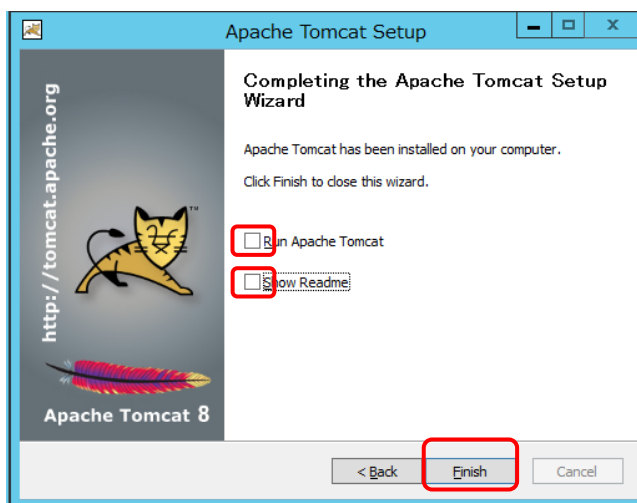
※下記項目をメッセージに沿って実施して下さい。(特に指定がなければデフォルト設定のままです問題ありません)

ー 「Tomcat のインストール」

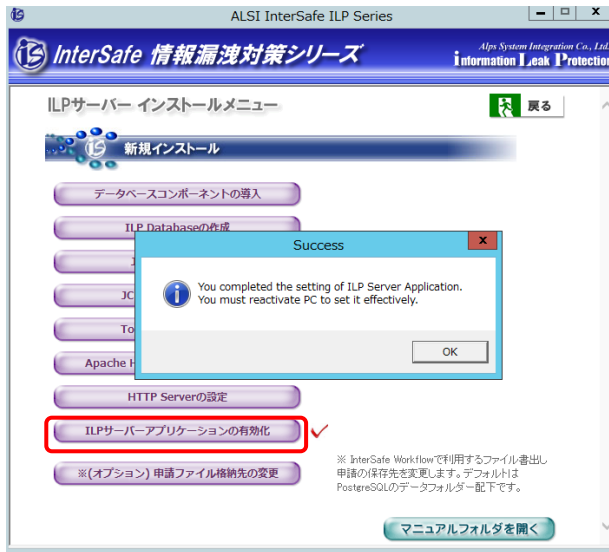


特に指定がなければ以下を入力して下さい。(運用上本設定は利用しません)
 UserName : **admin**
 Password : **password**

※RunApacheTomcat/ShowReadme をアンチェックし、[Finish]で終了します。



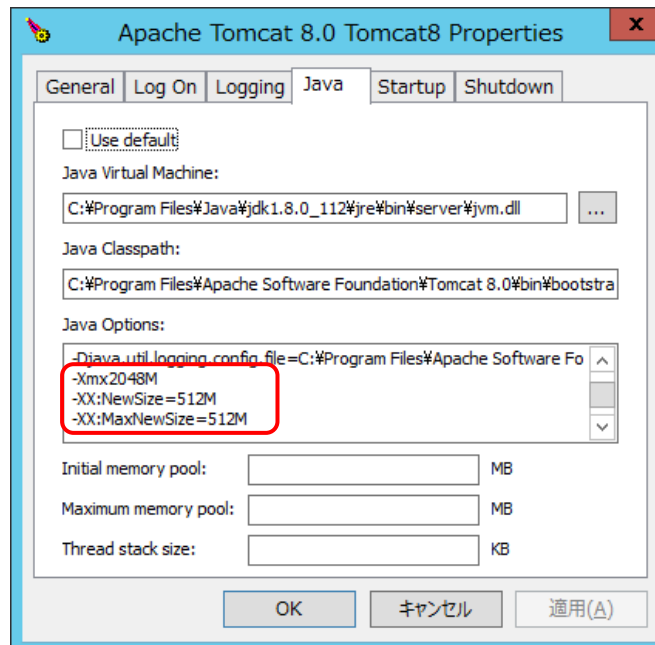
※ILP サーバーアプリケーションの有効化を行います。



Java パラメータを設定する。

[スタート]-[Apache Tomcat X.X TomcatX]-[Configure Tomcat]の[Java]タブの[Java Options]の内容を手順1で控えた内容に変更します。

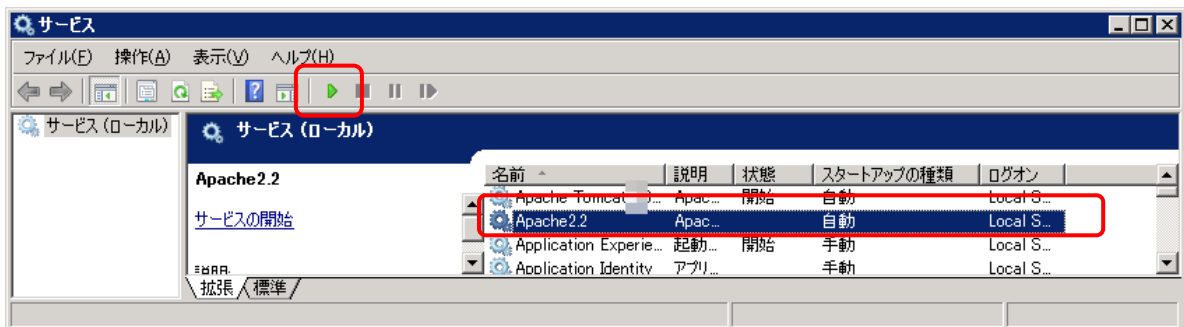
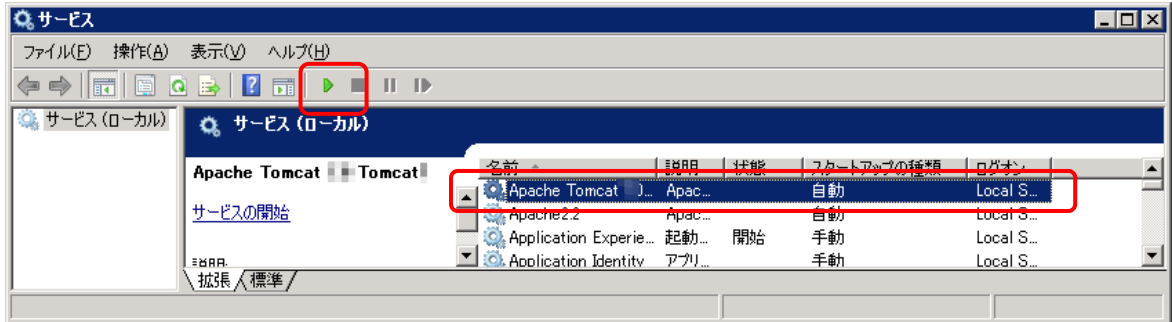
※この他にもインストール時のデフォルト値から変更しているものがあれば、手順1で控えた内容を参考に設定して下さい。(対象箇所は以下3か所です)



1-4. サービスの開始

Tomcat/apache サービスの開始

[スタート]—[コントロールパネル]—[管理ツール]—[サービス]を選択し、「Apache TomcatX」「ApacheX.X」の順でサービスを開始させます。



2. SD Professional における Tomcat プログラム更新

本章は SecureDeviceProfessional における ApacheTomcat プログラムを更新する手順について記載しています。

(お願い)

- ・ApacheTomcat などミドルウェアを入れ替える際は、予め製品の Ver を確認し、必ず同じ Ver のインストールプログラムを利用してください。現在利用中の Ver 確認は SecureDeviceConsole(管理画面)へログインした後、[環境設定]タブの[管理コンソール情報]よりご確認いただけます。



- ・文中のバージョン情報はご利用中の製品により異なります。適宜読み替えてご利用ください

2-1. プログラムの準備

新しい Apache Tomcat プログラムの準備

- 1) ダウンロードサイトより、最新のプログラムを入手します。
 - ・ご利用の Ver が V3.1 以前の場合
<http://dl.alsi-iss.jp/productdata/ilp/download/apache-tomcat-7.0.78.exe>
 - ・ご利用の Ver が V3.2 以降の場合
<http://dl.alsi-iss.jp/productdata/ilp/download/apache-tomcat-8.0.44.exe>
- 2) インストールメディアから¥Autorun フォルダと¥Setup フォルダを任意の場所へコピーし、前項でダウンロードした apache-tomcat-x.x.xx.exe を¥Setup¥tomcat¥へコピーします。
- 3) 前項でコピーした¥Setup¥insttom.bat 中にある apache-tomcat-x.x.xx.exe の記載をダウンロードしたファイル名に合わせ編集後、保存します。
 - ・ご利用の Ver が V3.1 以前の場合

```
set ALSI_DIR_INSTALL_MODULE=tomcat¥  
set ALSI_FNAME_SETUPEXEC=apache-tomcat-7.0.78.exe
```

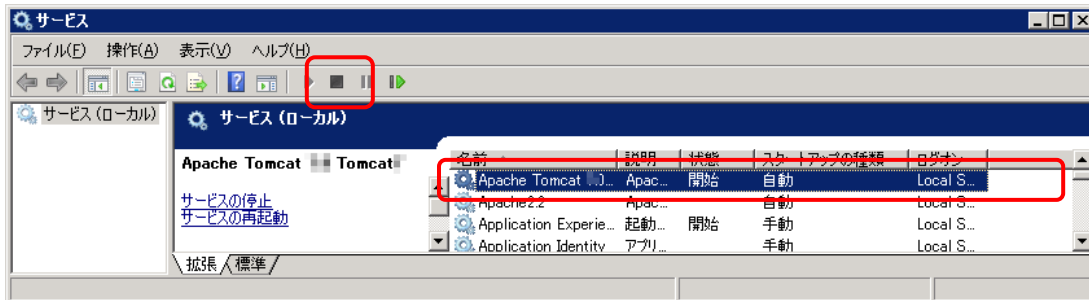
- ・ご利用の Ver が V3.2 以降の場合

```
set ALSI_DIR_INSTALL_MODULE=tomcat¥  
set ALSI_FNAME_SETUPEXEC=apache-tomcat-8.0.44.exe
```

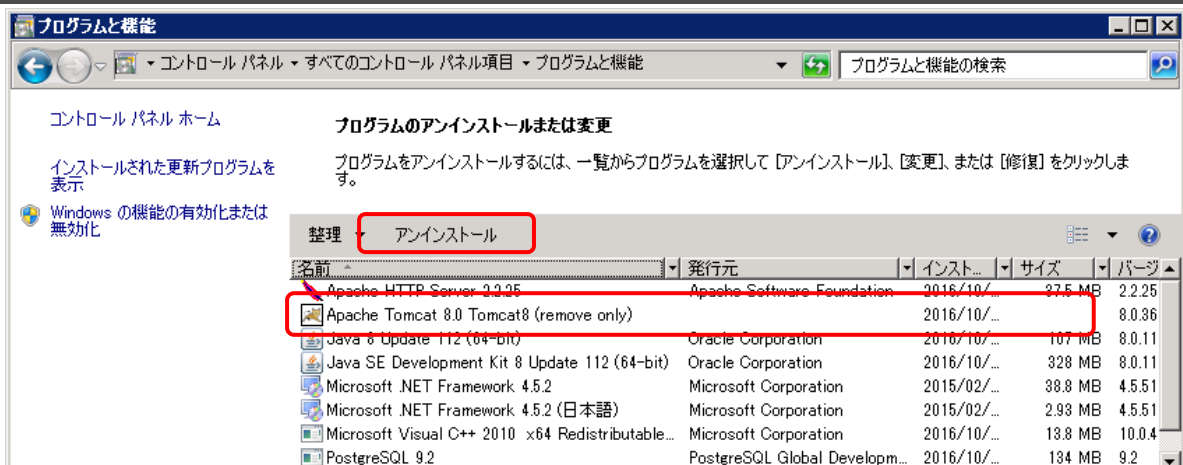
2-2. プログラムの更新

Apache Tomcat サービスの停止

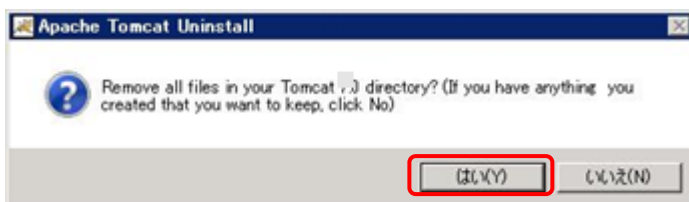
[スタート]—[コントロールパネル]—[管理ツール]—[サービス]を選択し、「Apache TomcatX」のサービスを停止させます。



Apache Tomcat のアンインストール



- 1) 確認ダイアログが表示されたら、[Uninstall]をクリックします。
- 2) 確認ダイアログが表示されます。設定ファイル等も削除しますので[はい]をクリックします。



- 3) Tomcat のインストール先（デフォルト：C:\Program Files\Apache Software Foundation）にある「TomcatX.X」フォルダーを削除して下さい。

Tomcat の再インストール

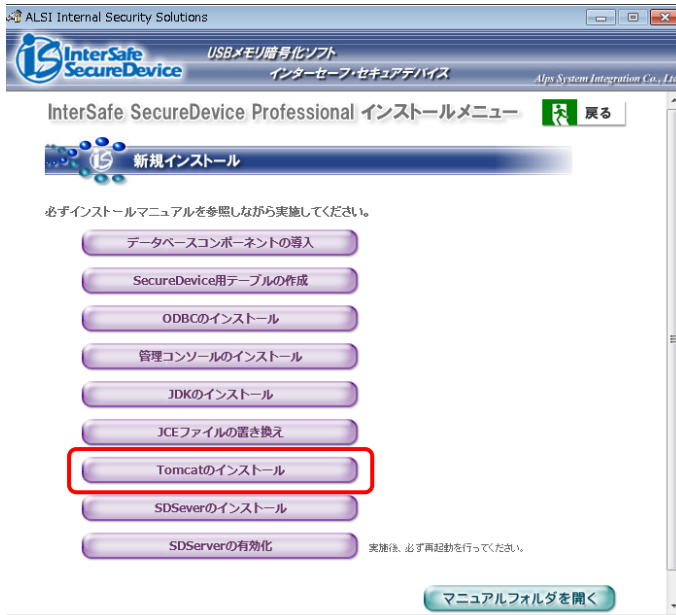
- 1) 1-1 項で準備した「Autorun」フォルダー内の「Autorun.exe (64bitOS の場合は Autorun64.exe)」を実行し、[InterSafe SecureDevice Professional]を選択したあと、「新規インストール」を選択します。



※既にインストール済みのプログラムが存在するために警告が表示されますが、OK ボタンで閉じます。

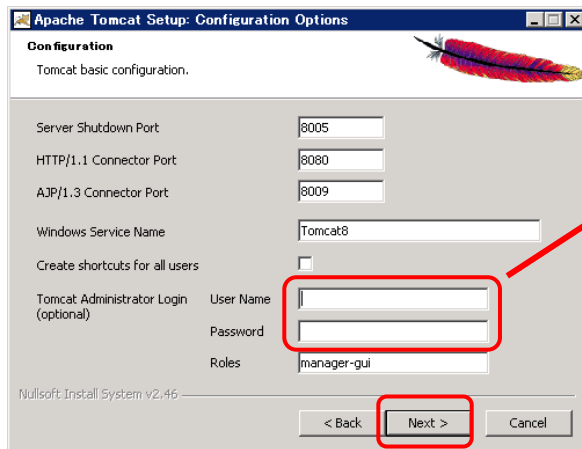


2) 「Tomcat のインストール」を実行します。



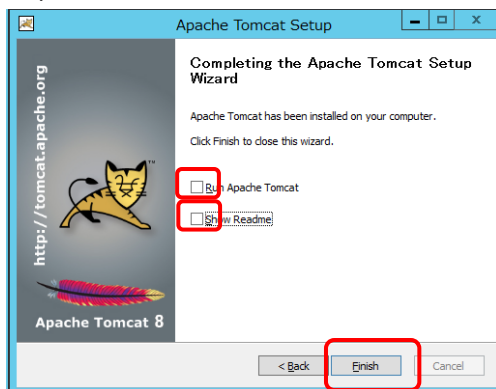
※下記項目をメッセージに沿って実施して下さい。(デフォルト設定のままで問題ありません)

－ 「Tomcat のインストール」

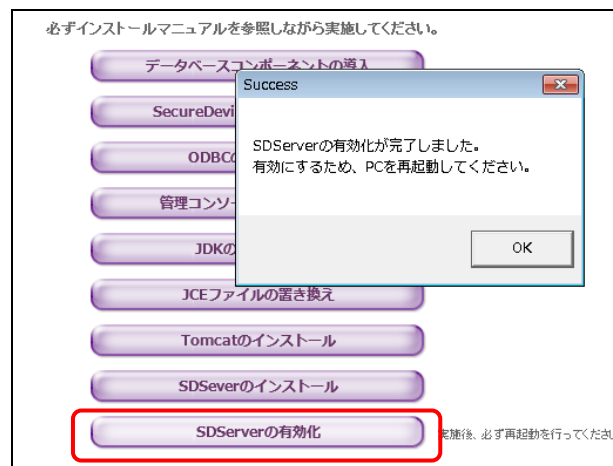


特に指定がなければ以下を入力して下さい。(運用上本設定は利用しません)
 UserName :admin
 Password :password

※RunApacheTomcat/ShowReadme をアンチェックし、[Finish]で終了します。



※SDServer の有効化を行います。



3) OS を再起動すれば完了です。

InterSafe ミドルウェア更新手順

第2版 2017年6月14日

作成/発行/企画 アルプスシステムインテグレーション株式会社

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7

※記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複写することを禁じます。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。